

令和3年度 学校中間評価アンケート結果について(お知らせ)

板野中学校長 山田 匠

10月末から11月初旬にかけて学校中間評価アンケートをご依頼いたしましたところ、ご協力いただき、誠にありがとうございました。生徒のみなさん、保護者のみなさまからいただきました声をしっかり受け止め、今後の「より良い学校づくり」に活かしてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。なお、集計結果の詳細につきましては、本校ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が80%を超えており、評価のよい項目

◎保護者

・ 子供は、楽しく学校生活を送っている。	92.7 %
・ 子供は、学校でいじめもなく、友だちと仲よくすごしている。	91.9 %
・ 子供は、場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	88.8 %
・ 子供は、遅刻をしないなど時間を守って生活している。	87.8 %
・ 子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	96.8 %
・ 学校は、生徒同士のトラブルや悩みなど、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている。	87.7 %
・ 子供は、予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています。	88.8 %
・ 保護者は子供の良いところを知っている。	94.3 %
・ 子供は、社会のルールを守る態度が育っている。	90.9 %
・ 子供は、自分を大切な存在であると思っている。	91.9 %
・ 部活動は、時間を守り、活動ができています。	81.0 %
・ 子供は、事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	88.7 %
・ 学校の施設・設備は安全である。	83.1 %
・ 学校は、美しく整えられている。	92.3 %
・ 学校や先生は子ども同士のトラブルや悩みなどに迅速に対応している。	87.7 %
・ 学校や先生は、いじめや差別のない学校づくりをしている。	87.4 %
・ 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	87.0 %
・ 保護者は、学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	82.4 %
・ 学校は、積極的にPTA活動に協力したり、地域との連携を大切にしようとしている。	92.9 %
・ 学校は、授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	93.4 %
・ 学校の便りから、学校の取り組みや生徒の活動の様子がよく伝わる。	89.9 %
・ 学校から発信されるホームページ、マチコミメールは役に立っている。	94.0 %

◎生徒

・ 学校での生活は楽しい。	93.9 %
・ 学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている。	96.4 %
・ 場に応じて、聞こえる挨拶をしている。	95.4 %
・ 遅刻をしないなど時間を守って生活している。	92.9 %
・ 自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている。	98.2 %
・ 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。	88.3 %
・ 予鈴着席、私語をしないなどの規律ある授業ができています。	85.4 %
・ 提出物を忘れずに出している。	84.3 %
・ 授業の内容を理解している。	85.3 %
・ 毎日、家庭学習をしている。	82.9 %
・ 社会のルールを守って生活している。	94.6 %
・ 「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった。	82.2 %
・ 道徳の時間に積極的に取り組んでいる。	82.8 %
・ 生徒会活動や部活動に自主的・積極的に取り組んでいる。	80.4 %
・ 事故、不審者、災害等から身を守る方法を知っている。	95.0 %
・ 学校の施設・設備は安全である。	84.0 %
・ 時間いっぱい清掃に取り組んでいる。	86.0 %
・ 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。	87.9 %
・ いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくらうとしている。	95.7 %
・ 学校行事や講演会は、楽しく、充実している。	92.5 %
・ 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	80.3 %
・ 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	84.3 %
・ 学校からの便りを保護者にわたしている。	87.5 %

「よくあてはまる」「ややあてはまる」が60%に達しておらず、あまり評価のよくない項目

◎保護者

・ 子供は、家庭学習をする習慣が身についている	57.7 %
・ 子供は、家庭でも読書をしている	28.7 %
・ 子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている	53.0 %
・ 子供が、道徳でどんなことを学んでいるか知っている	54.1 %

◎生徒

・ 朝読書以外にも読書をしている。	43.2 %
・ 地域の行事に参加している。	33.2 %

※ うら面もあります。

評価の分析と今後の取り組みについて

☆生徒の調査について

学校生活全般については質問項目では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を大きく超えており、概ね満足しているといえます。また、全調査項目のうち、80%以上の項目が昨年度調査では15項目であったのが23項目に増加しています。そして、数値が昨年度より上昇した項目が24項目あり、大幅に改善されてきていることがわかりました。ただ、「学校での生活は楽しい」93.9%、「学校や学級で、いじめもなく仲よくすごしている」96.4%の2項目については、限りなく100%に近づきたい項目ではありません。

「学校や学級で、いじめもなく友だちと仲よくすごしている」は、R2年度95.4%で今年度の調査ではさらに上昇し、96.4%となっています。「いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくろうとしている」では、R2年度92.0%から、今年度中間評価では95.7%となり、年々改善されています。そして、「先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる」の項目は、R2年度の83.9%から88.3%に改善されています。

理由としては、生徒相互の人間関係が良好に進んでいることで、困りごとや悩みごとが減少していることがあげられます。また、巡視や面談・声かけ等を増やし、生徒の日々の変化を素早く察知し、家庭訪問や家庭連絡の回数を増やし、保護者との関係を密にする取り組みを進めたことによる結果と考えられます。

『とことん続ける目標』で、自信につながるようになった」は、R2年度調査の76.2%から今年度中間評価は82.2%へと向上が見られます。学年別のデータでは、「よくあてはまる」の回答が1年生(25.8%)、2年生(29.2%)、3年生(40.7%)のように高学年ほど高い値となり、板野中学校2021年度重点行動目標の浸透状況が見えてきました。

「学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる。」は87.9%となり、昨年度の数値から7.8%向上しています。「よくあてはまる」の回答が52.5%と過半数を越えており、他の設問項目と比べても「よくあてはまる」の回答率が高くなっています。『明日への扉』での毎日の目標設定と振り返りが徐々に浸透してきているとともに、『明日への扉』や『とことん続ける目標』を通じて、生徒と教員、保護者と教員の相互の関係が深まっています。生徒間の人間関係が改善され、またトラブルが素早い対応で解決されるなど、1年間での成長が感じられます。

学力・学習指導については、「授業内容の理解」「家庭学習」の項目で数値が上昇していますが、「表現力」「読書」の項目では数値が下がっており、さらなる改善・向上が求められます。

今後の課題は次の7つの項目です。

- I 自分の考えや意見を伝える力など、表現できる力がついている
- II 朝読書以外にも読書をしている
- III 自分には良いところがある
- IV 自分が大切な存在であると思っている
- V 「とことん続ける目標」で、自信につながるようになった
- VI 学校や先生は子供同士のトラブルや悩みなどに素早く対応してくれる
- VII いじめや差別のない楽しい学級や仲間をつくろうとしている

中でも設問項目V、VIは今年度前半に引き続き最重点目標として継続します。「とことん続ける目標」の徹底で自己肯定感を磨き、それによって学習意欲をさらに増加させるよう取り組みます。そして、学校からの情報発信力をさらに向上し、いじめ対応を素早く、スピード感をもって対処し、学習の土台となる「人間力づくり」「人間関係づくり」を最優先に取り組みます。

☆保護者方々の調査について

保護者の中間評価の結果において、全30問の設問項目のうち、24問が昨年度の回答よりも「よくあてはまる」「ややあてはまる」が増加しています。

学校生活全般については、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が80%を超えており、90%以上の回答や、「よくあてはまる」の回答だけで80%を超えるものもあり、満足していただいていると言えます。また、これらの回答は生徒の回答とも類似しています。昨年までのデータと比較して、若干下がったものが1項目ありますが、その他の設問項目では少しずつ向上しています。好評価の中でも特に登下校の生徒の評価がよく出ているのが、「子供は、自転車で登校するときはヘルメットをかぶっている」の調査です。「よくあてはまる」だけで、87.7%の回答があり、「全くあてはまらない」の回答は1.1%となっています。

「子供は、自分の考えや意見を伝える力が身につけている」の調査では、R2年度と本年度中間調査ともに73.4%となり、保護者の方々の子供に対する評価が全く同じ数値となっています。この調査では、「よくあてはまる」23.9%に対して、「ややあてはまる」は49.5%と2倍以上あります。また、「子供は、将来の夢や希望の実現に向けて考えている」が「よくあてはまる」17.2%となっており、生徒の夢や、考え、意見を保護者に見てもらったり、聞いてもらったりする情報発信をさらに強化する必要があります。また、「子供は『とことん続ける目標』で、自信につながっている」の肯定的な意見がR2年度66.2%からR3年度は71.2%に伸びています。保護者に「とことん続ける目標」の取組が少しずつ浸透してきたと言えます。この活動は家庭教育と学校教育が一体となって取り組みたいものでもあり、生徒が設定している目標を保護者に知ってもらおうとともに、振り返りシートの保護者の記入について協力を依頼することで、学校と家庭が歩調を合わせて生徒の自己肯定感の育成をさらに進めていきます。

人権教育においては、肯定的な意見は80%を超えた結果が出ています。講演会等で積極的に保護者の参加を勧めてきた成果だと考えます。

保護者への情報発信はいずれの設問項目においても好評価となっています。今年度、保護者が学校を訪問するPTA活動や学校行事などは新型コロナウイルス感染症の感染防止対策もあり、その機会が増やせていないのが現状です。しかし、学校からの保護者への情報が適切に伝わっていることが考えられます。保護者からの意見や情報が、教員に日常的に伝わる情報交換をさらに高めていきたいと考えています。

今後も「子どもたちのより良い成長」を目指し、学校改善に取り組んでまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。